

生活だより

大阪市立平林小学校
生活指導部通信 第3号
平成29年6月2日

親子で話し合っていますか？

先日の家庭訪問では何人かの保護者の方から、子どものインターネットやスマートフォン（以下：スマホ）に関する相談がありました。特に高学年になるとスマホを持っている子どもの割合が増えているように感じますが、ゲーム機やおもちゃを買い与えるような感覚でスマホを持たせていませんか。正しく使えばとても便利である反面、使い方を間違った場合の危険性や使用時のルールについて親子でしっかり確認ができているでしょうか。今月は「ネットを通じた子ども同士のトラブル」が増えてきている原因について考えてみたいと思います。

原因① コミュニケーション能力の低下

ネットの一番の問題点は、相手の表情や仕草が見えないまま、コミュニケーションをとることです。小学生は相手との関係を築きながら、様々なことを学ぶべき時期です。軽い意味で言った言葉が、どれほど相手を傷つけたか、相手の表情の変化を見て理解する体験は、心の成長に欠かせない経験です。SNS等でのやりとりに頼ることで、相手の気持ちを想像したり、思いやりの気持ちを学んだりする機会が減ってしまうのは、もったいないことです。

原因② 保護者の知らない「つながり」ができる

小学生くらいまでは何となくではあっても、「学校での様子はどんな感じか、友達との関係はどうか」ということを保護者が把握しておくべきです。しかし、スマホだけで連絡を取り合うようになると、保護者には全く見えないところで、次々と新しいつながりが発生します。中にはSNSを利用し、つながりの数にこだわって見知らぬ相手と会う約束をしてしまうケースもあります。

また、特定のメンバーだけのグループトークの中で「一人の悪口が続く」、「内緒でグループから外す」、「恥ずかしい写真や動画がはられている」ということもあるかもしれません。子どもの成長と共に保護者に見えないつながりができるのは自然なことですが、無制限に範囲が広がるツールを与えてリスクは念頭に置いておきましょう。

スマホは既に子どもたちにとっても身近な道具です。しかし、間違った使い方をすれば大きなリスクがあることを教えるのは、道具を与えた保護者の務めです。安全な方法、家庭のルール、潜む危険はきちんと子どもに教えていきたいですね。

6月の生活目標

今月は以下のようなことを重点的に指導していきます。

校内生活「進んであいさつをしよう」

○「元気よくあいさつをしよう」

朝、学校の正門に立っていると「おはようございます」と元気にあいさつしてくれる児童がたくさんいます。逆に、うつむいたままボソボソとあいさつする児童や、先生が声をかけても黙って通り過ぎていく児童もたまに見られます。あいさつは人と人とのつながりの第一歩です。しんどいことや、いやなことがあっても、元気よくあいさつをすると気持ちよく一日をスタートできるものですよ。恥ずかしがらずに元気よくあいさつをしてみましょう。

○「時と場に応じたあいさつをしよう」

あいさつは朝の「おはよう」だけではありません。人に何かしてもらったら「ありがとう」、ごはんを食べるときは「いただきます」、悪いことをしたら素直に「ごめんなさい」などと言えることが大切です。また、おうちの方や先生、地域の方など年上の人とあいさつするときにはていねいな言い方であいさつができるようしましょう。

校外生活「出かける時は行き先をはっきり言おう」

これから1年のうちで最も日が長くなる時期を迎えます。元気な子どもたちは、ついいつた方遅くまで遊んだり、羽目を外して危ない遊びに駆られたりすることもあるかもしれません。引き続きご家庭や地域の中での声かけ指導の方もお願ひいたします。

生活指導部より

登校時の服装について

平林小学校では「流行にとらわれず、動きやすく、子どもらしい服装」で学校に来るよう指導しています。ひざの破れたズボンや、かかと履きの靴などは、様々な活動を行う学校の中では、安全面等を考慮してもあまり好ましくありません。家庭生活と学校生活の気持ちの切り替えがしっかりとできるよう、服装についても一緒に考えていただければと思います。

人を傷つける落書き

このところ、学校の内外を問わず建物や公共の施設に落書きされているのが数件見つかりました。学校では「落書きを見つけた人がどういう気持ちになるのか」考えさせ、人の心を傷つけることにもなる落書きは絶対に許さないと伝えています。メールやインターネットなどへの書き込みに関しても同様です。家庭でもしっかりと目を配っていただくようお願いいたします。